

## 【郡市リーグ大会】

3/17、船橋市において開催された「郡市リーグ大会」に参加しました。

郡市リーグ大会とは、県内各市の年代別代表選手による団体戦であり、計7対戦（一般男女ダブルス、ミックス、40歳代男女ダブルス、50歳代男女ダブルス）によりチームの勝敗が決します。ランクは1部から3部まで。ひとつの部につき、5市による総当たりリーグ戦となります。今年度は、3部×5市、計15市チームの参加による、大規模な大会となりました。

この郡市リーグ大会の特徴は、一発勝負のトーナメント戦である県民大会と違い、リーグ戦なので最後まで順位が分からないこと、また、一般（若手）のみならず、40歳以上のシニア層の選手力も重要である点です。特に、シニア層は、年齢的にもコンディショニングの調整が大切であるとともに、対戦相手との相性等も勝負を左右する一因となることから、必然的にオーダーにも力が入ります。まさに、各市の「総合力」が試される大会と言えます。

また、この郡市リーグ大会は、例年、年度末に開催されることから、Nチームが活動する最後のイベントとなります。特に今年度の一般メンバーは、次年度の県民大会での飛躍も見据え、実戦経験を積む意味において、若手の選考も考慮しています。

### ＜市川市選手団＞

【一般】 福田翔惟、岩城覚、八巻凌、村上港、長野来夢、関本柚乃、田所弥子、村上美羽

【40歳代】 赤川誠、皿谷武、一戸裕大、田村早苗、沼田尚美、竹内英子

【50歳代】 湊昭宏、斎藤貴之、杉町敬人、市川明子、高橋美佐、新井径代

市川市は、昨年度、2部リーグで優勝したため、ランクアップし、1部での出場となりましたが、ここ数年、1部と2部を行ったり来たりすることが多く、1部の壁、レベルの高さを痛感しています。

今年の1部は、千葉市、船橋市、松戸市、印旛郡市、市川市の5市によるリーグ戦となり、どの市も全世代においてレベルの高い選手を揃えており、選手層の厚さが伺えます。昨年度の2部とは異なり、1部はレベルが格段に上がるのが特徴です。

まずは、最下位⇒2部降格という最悪の結果を避けるべく、残留も視野に入れつつの厳しい戦いを迎えました。

### ❖第1戦（対千葉市） ●3-4

全世代にレベルの高い選手を揃えている優勝候補の一角。初戦から、厳しい戦いとなりました。

結果、40歳代、50歳代のシニア層の負け越しもあり、残念ながらチームとしては3-4で惜敗。一般の勝ち越しもあっただけに悔しい敗退となりました。

『Topic（印象に残った試合を少々紹介…）』

一般ミックス（八巻・長野組）、千葉市の強豪ペアに勝ち切りました。相手男性選手の質の高い配球に、しっかりと対応していたのが勝因です。

## ❖第2戦（対松戸市） ○4-3

初戦の千葉市同様、男女ともレベルの高いチーム。県民大会でも優勝候補の常連。市川市としては、ここで初勝利を掴みたい対戦となりました。

この対戦、出だしのシニア層の悪い流れを一般がカバーする形となり、チームとしては4-3で初勝利!!まさに、チームの総合力で勝利しました。

これで、1勝1敗となりました。

『Topic』

一般の3ダブルス（WD 長野・田所組、MD 八巻・村上組、Mix 福田・村上組）が全勝しました。いずれも接戦でしたが、しっかり勝ち切ってくれたおかげで、チームの勝利に繋がりました。

## ❖第3戦（対印旛郡市） ●3-4

1勝1敗で迎えた第3戦。相手は昨年度4位で、残留争いでもライバル。ここは、是が非でも勝って、残留を決定したいところです。

結果は3勝4敗で敗退。負けた試合は殆どファイナルだっただけに、悔やまれる1戦となりました...

『Topic』

40歳代男子ダブルス（赤川・一戸組）、終始競り合いとなりましたが、粘り強くラリーを続けストレートで勝ち切り。以降の試合に勢いをつけてくれました。

## ❖第4戦（対船橋市） ○5-2

1勝2敗で迎えた最終戦。絶対に負けられない戦いとなりました。この対戦を落とすと、2部降格が濃厚になります。各年代、総力を挙げて勝利を掴みにいく、まさに決戦の大一番です。また、1つでも多く勝つことが、後の順位決めに大きく反映する、大切な試合となりました。

結果、40歳代、50歳代のシニア層、一般ともに勝ち越し、5-2で大きく勝利。この勝ち数が、後の順位決めに大きく作用しました。

『Topic』

50歳代女子ダブルス（市川・新井組）、マッチポイントを握られてからの、大逆転勝利。点差があったものの、最後まで諦めなかった頑張りに、勝利の女神が微笑みました。

最終結果は、1位は全勝の千葉市。以下、2位市川市、3位船橋市、4位印旛郡市、5位松戸市でした。

2位から4位は、2勝2敗で並びましたが、勝敗数の差で市川市が2位となりました。同率の2位とはいえ、好成績を残せたかと思えます。選手の頑張りに感謝です。

なお、今大会のMVPは、全試合において勝利を収めた八巻 凌選手。エースとして存分な活躍を見せてくれ、チームの勝利に大きく貢献してくれました。

八巻選手は、ここ数年で大きく成長し、その存在が県内でも広く知られる選手となっています。まさに、市川市Nチームの「顔」として、今後の活躍にも期待します。

## 総括（1年間を振り返って）

今年度は、県民大会において男女ともベスト8。特に、女子は昨年度のシード落ちから、見事復活することが出来ました。

その後、市川 Special 大会において、A チームが3位。郡市リーグ大会では、1部リーグで2位と、全体的にはますますの成績を残せましたが、あともう一步、先に進む力が不足していたのも現状です。

大切なことは、この結果を忘れずに、それぞれが奮闘し、より上の結果を残せるよう、日々努力することかと思えます。

また、N チームの役割として、各種講習会においても様々サポートさせていただきました。スポーツ教室、初心者講習会、先日の中級者講習会等、指導者としての責務も果たすことが出来たと感じています。特に、指導者として、若手のNメンバーにも頑張ってもらいました。

この度の郡市リーグ大会において、令和5年度のN チームとしての活動は終了しましたが、次年度に向けた選手選考等、既にアクションは起こしています。

これからも、協会会員の皆さんのお手本となるとともに、応援していただける存在であり続けるよう、尽力して参ります。

今後も、引き続き、ご声援の程、宜しくお願い致します。

〔文責：強化担当理事 杉町〕

～大会を終えて～

